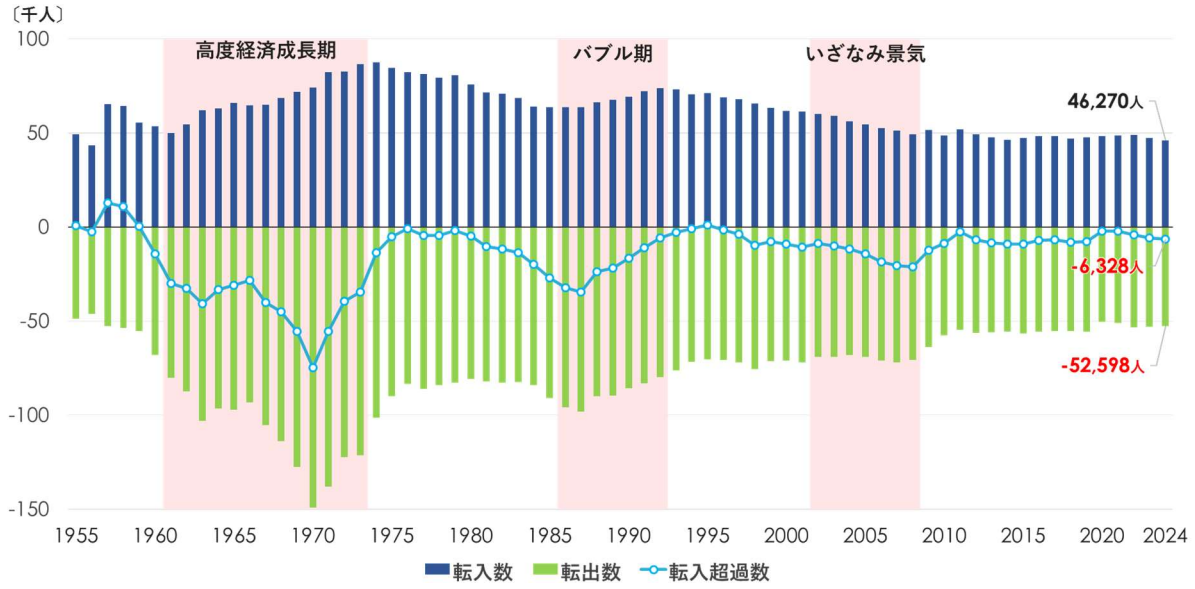
3 社会増減

（1）転入数・転出数

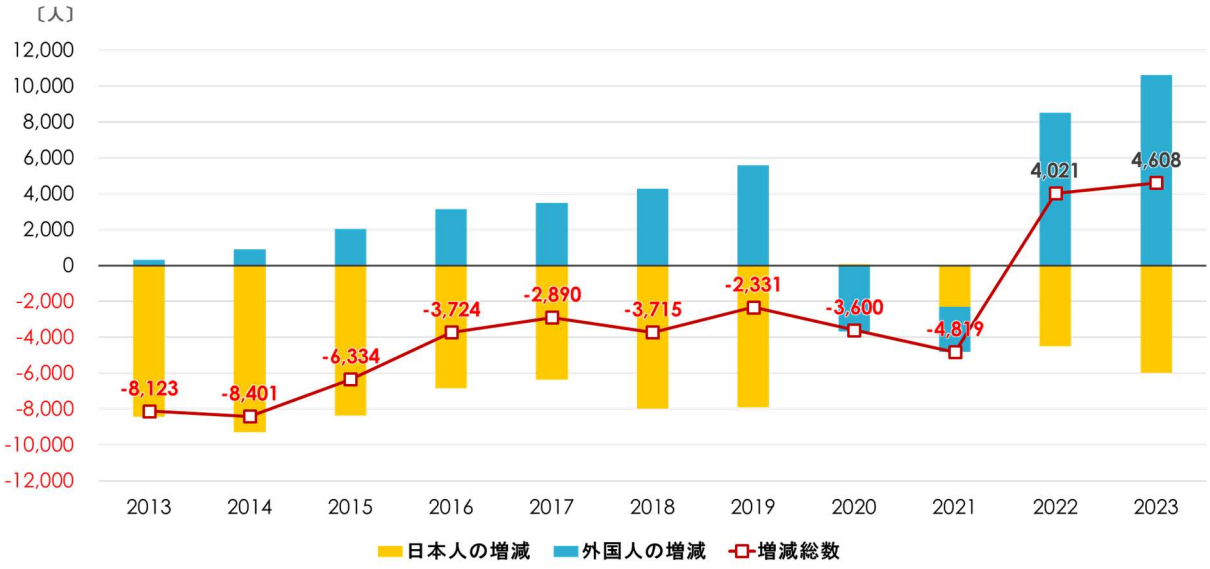
本道では、半世紀にわたり転出超過が続いており、特に、好景気の時期には、道外への転出超過数が大きくなっている。

転入数・転出数・転入超過数の推移（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

日本人・外国人の社会増減の推移（北海道）

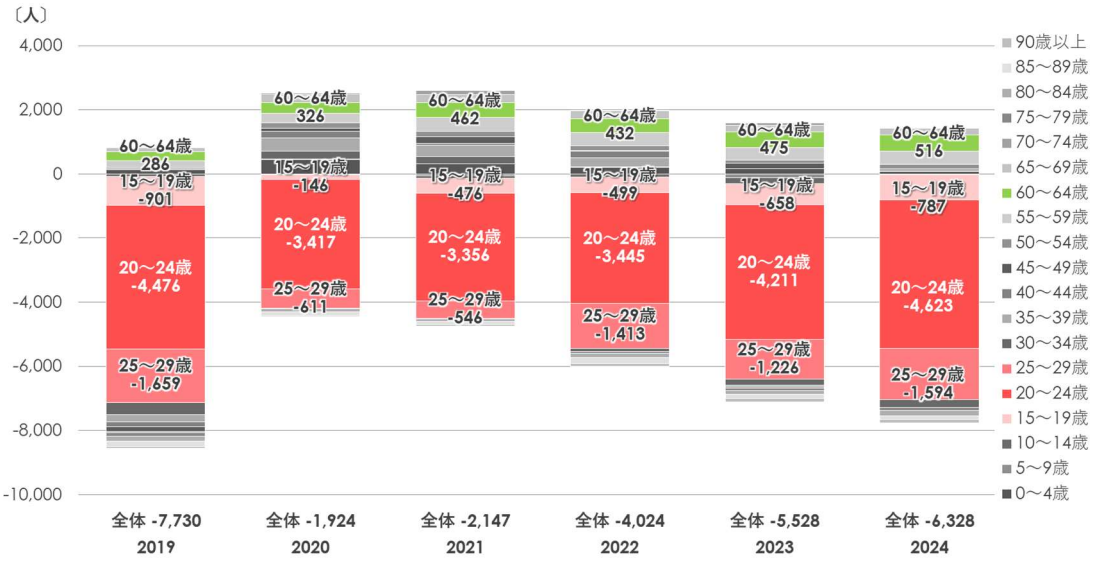


総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

（２）年齢階級別・地域ブロック別の人口移動

2019（令和元）年に比べると、2020（令和２）年以降はコロナ禍の影響により転出が抑制、転入が増加する傾向にあったが、近年はコロナ禍前の状態に戻りつつある。年齢階級別の人口移動の状況をみると、60～64 歳は転入超過であるのに対し、若年層は転出超過の傾向にある。特に、転出超過数に占める割合は 15～29 歳の若年層で高くなっており、大学等への進学や就職などのため、道外に転出する者が多いことが主な理由であると推測される。

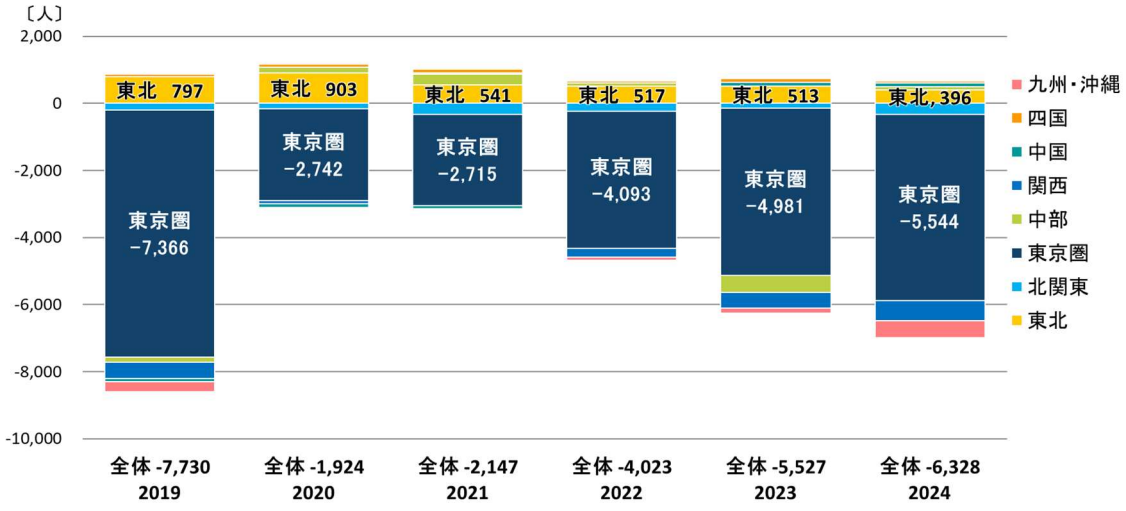
年齢階層別の人口移動（転入―転出）の状況（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

地域別では、東北など一部の地域から転入超過となっているが、多くの地域に対して転出超過となっており、なかでも東京圏※2 への転出が多くを占めている。

地域ブロック別の人口移動（転入―転出）の状況（北海道）



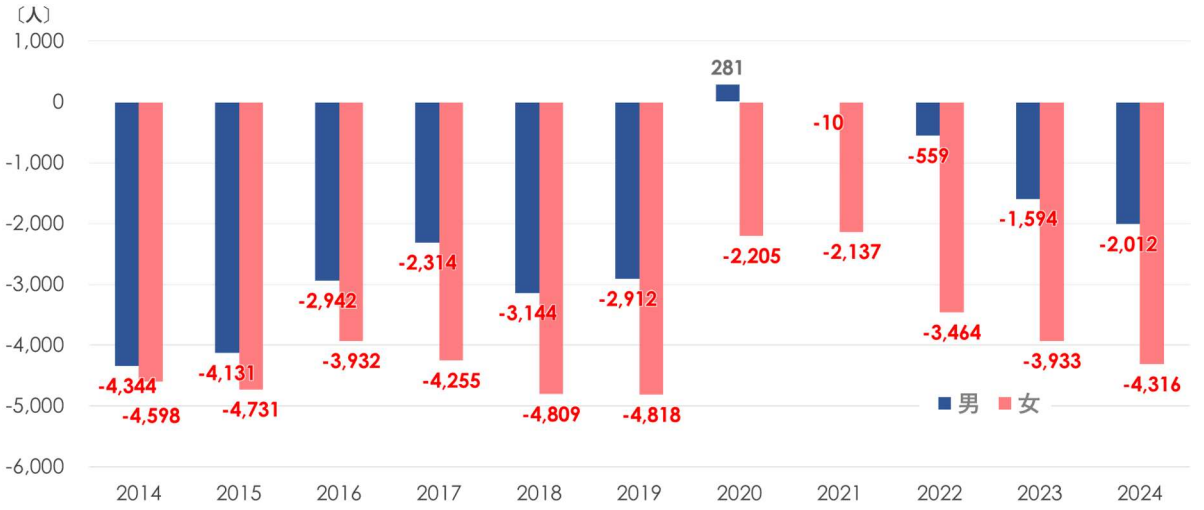
総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

※2　東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

（3）男女別の人口移動

男女別では、2014（平成 26）年以降は女性の転出超過数が男性の転出超過数を上回る傾向となっており、コロナ禍を機にその数は抑制されたものの、近年では男女ともに転出超過傾向が強まっている。

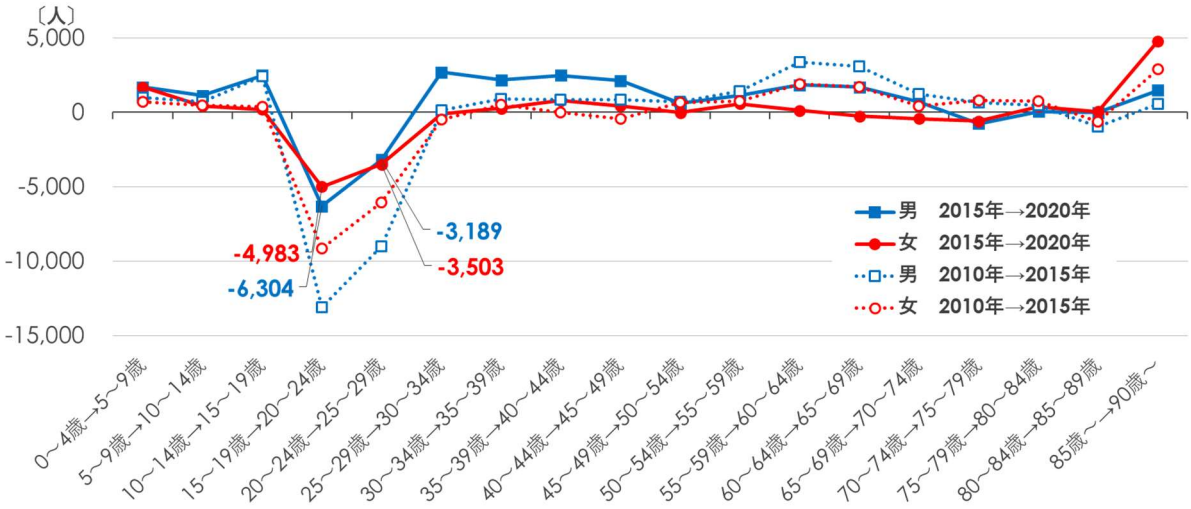
男女別人口移動（転入―転出）の推移（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

男女別・年齢階級別の人口移動をみると、2015→2020 年の「15～19 歳→20～24 歳」の世代では男性、「20～24 歳→25～29 歳」の世代では女性の転出超過数が多く、男女とも若年層は転出超過の傾向にある。

男女別・年齢階級別の人口移動（転入―転出）（北海道）

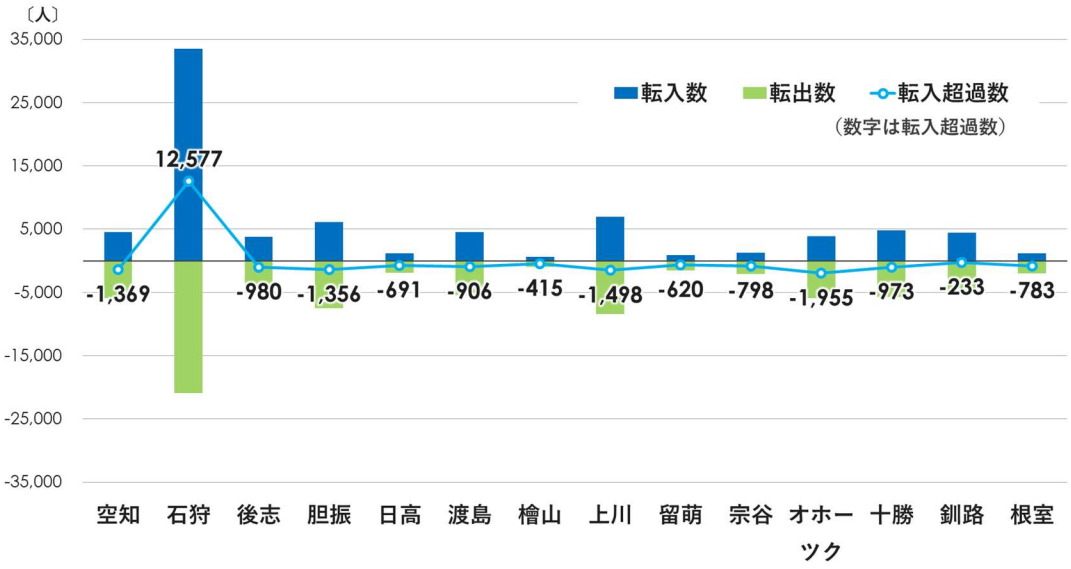


総務省「国勢調査」

（４）振興局別の人口移動

2024（令和６）年における振興局間の転出入状況は、札幌市を含む石狩振興局管内のみが転入超過である一方、その他の管内はすべて転出超過となっており、札幌圏への人口集中が進んでいる。

振興局別の道内人口移動（転入―転出）の状況（2024 年１～12 月）

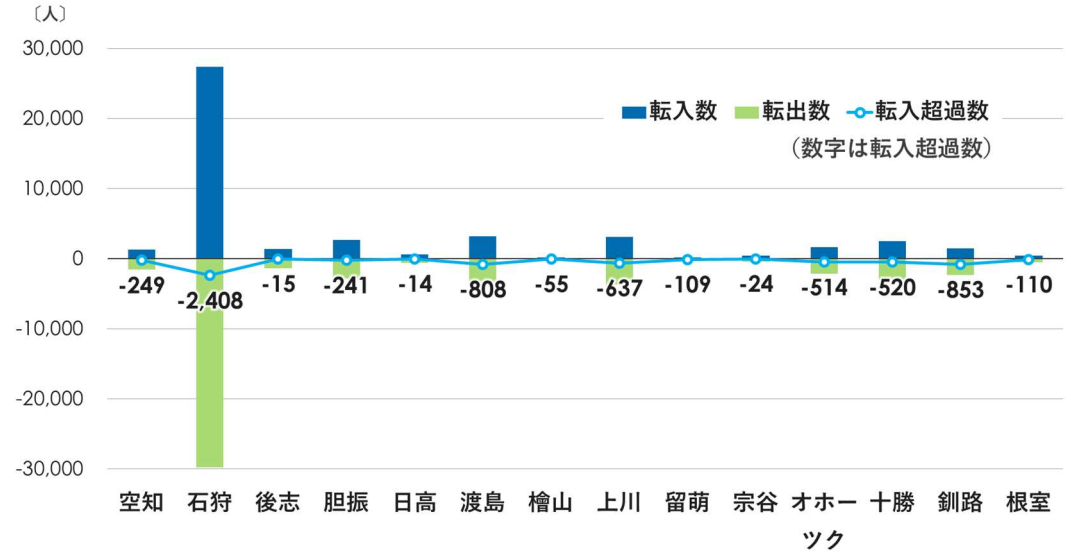


北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

2024（令和６）年における道外への転出入状況を振興局別にみると、全ての振興局で転出超過となっているが、石狩振興局と釧路総合振興局以外の転出超過数は、対道内の転出超過数より少ない。

道内の転出入は、地域から札幌圏へ人が集まる一方で、札幌圏から道外へ転出する傾向があることがうかがえる。

振興局別の道外人口移動（転入―転出）の状況（2024 年１～12 月）



北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

振興局別の人口移動（転入―転出）の状況（2024 年 1 ～12 月）

〔人〕

空知	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-1,369 (-0.5%)		転入－転出		-249 (-0.09%)		道内	-1,369
		転入計	4,504	転出計	5,873	転入計	1,320	転出計	1,569		
	1	石　狩	2,378	石　狩	3,809	東 京 都	257	東 京 都	326	道外	-249
［人口 264,492］	2	上　川	661	上　川	707	神奈川県	148	神奈川県	177		
	3	胆　振	294	胆　振	317	埼 玉 県	98	千 葉 県	130	合計	-1,618

石狩	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		12,577 (0.5%)		転入－転出		-2,408 (-0.1%)		道内	12,577
		転入計	33,472	転出計	20,895	転入計	27,374	転出計	29,782		
	1	胆　振	5,033	胆　振	3,393	東 京 都	6,642	東 京 都	8,543	道外	-2,408
［人口 2,354,553］	2	上　川	4,988	上　川	3,150	神奈川県	2,913	神奈川県	3,268		
	3	渡　島	3,568	渡　島	2,479	埼 玉 県	2,065	埼 玉 県	2,262	合計	10,169

後志	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-980 (-0.5%)		転入－転出		-15 (-0.008%)		道内	-980
		転入計	3,780	転出計	4,760	転入計	1,372	転出計	1,387		
	1	石　狩	2,132	石　狩	3,437	東 京 都	272	東 京 都	319	道外	-15
［人口 186,745］	2	胆　振	310	胆　振	285	神奈川県	141	神奈川県	152		
	3	上　川	263	渡　島	227	千 葉 県	99	千 葉 県	95	合計	-995

胆振	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-1,356 (-0.4%)		転入－転出		-241 (-0.07%)		道内	-1,356
		転入計	6,158	転出計	7,514	転入計	2,645	転出計	2,886		
	1	石　狩	3,393	石　狩	5,033	東 京 都	417	東 京 都	543	道外	-241
［人口 364,537］	2	渡　島	454	渡　島	440	神奈川県	302	神奈川県	327		
	3	日　高	382	上　川	329	千 葉 県	216	千 葉 県	251	合計	-1,597

日高	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-691 (-1.2%)		転入－転出		-14 (-0.02%)		道内	-691
		転入計	1,184	転出計	1,875	転入計	556	転出計	570		
	1	石　狩	479	石　狩	969	東 京 都	76	東 京 都	87	道外	-14
［人口 59,188］	2	胆　振	253	胆　振	382	神奈川県	61	千 葉 県	66		
	3	渡　島	67	空　知	92	埼 玉 県 千 葉 県	37	神奈川県	56	合計	-705

渡島	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-906 (-0.3%)		転入－転出		-808 (-0.2%)		道内	-906
		転入計	4,536	転出計	5,442	転入計	3,185	転出計	3,993		
	1	石　狩	2,479	石　狩	3,568	東 京 都	570	東 京 都	927	道外	-808
［人口 361,935］	2	胆　振	440	胆　振	454	青 森 県	358	神奈川県	474		
	3	檜　山	328	上　川	252	神奈川県	341	埼 玉 県	326	合計	-1,714

檜山	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-415 (-1.3%)		転入－転出		-55 (-0.2%)		道内	-415
		転入計	586	転出計	1,001	転入計	181	転出計	236		
	1	石　狩	232	石　狩	416	神奈川県	24	東 京 都	49	道外	-55
［人口 31,346］	2	渡　島	158	渡　島	328	青 森 県	18	神奈川県	26		
	3	胆　振	46	胆　振	77	東 京 都	16	埼 玉 県	22	合計	-470

〔人〕

上川	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-1,498 (-0.3%)		転入－転出		-637 (-0.1%)		道内	-1,498
		転入計	6,942	転出計	8,440	転入計	3,057	転出計	3,694		
	1	石狩	3,150	石狩	4,988	東京都	620	東京都	799	道外	-637
［人口 462,351］	2	オホーツク	781	空知	661	神奈川県	287	神奈川県	358		
	3	空知	707	オホーツク	606	千葉県	225	埼玉県	300	合計	-2,135

留萌	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-620 (-1.6%)		転入－転出		-109 (-0.3%)		道内	-620
		転入計	858	転出計	1,478	転入計	151	転出計	260		
	1	石狩	332	石狩	713	東京都	29	東京都	55	道外	-109
［人口 39,520］	2	上川	189	上川	273	神奈川県	15	埼玉県	31		
	3	空知	69	空知	115	千葉県	11	神奈川県	19	合計	-729

宗谷	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-798 (-1.4%)		転入－転出		-24 (-0.04%)		道内	-798
		転入計	1,268	転出計	2,066	転入計	422	転出計	446		
	1	石狩	538	石狩	1,019	東京都	61	東京都	91	道外	-24
［人口 56,583］	2	上川	262	上川	410	神奈川県	41	神奈川県	45		
	3	オホーツク	114	オホーツク	112	埼玉県	36	千葉県	42	合計	-822

オホーツク	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-1,955 (-0.8%)		転入－転出		-514 (-0.2%)		道内	-1,955
		転入計	3,913	転出計	5,868	転入計	1,642	転出計	2,156		
	1	石狩	1,688	石狩	3,021	東京都	286	東京都	430	道外	-514
［人口 257,642］	2	上川	606	上川	781	神奈川県	161	神奈川県	258		
	3	十勝	432	十勝	527	埼玉県	129	埼玉県	172	合計	-2,469

十勝	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-973 (-0.3%)		転入－転出		-520 (-0.2%)		道内	-973
		転入計	4,780	転出計	5,753	転入計	2,501	転出計	3,021		
	1	石狩	2,022	石狩	3,171	東京都	426	東京都	696	道外	-520
［人口 321,731］	2	釧路	601	釧路	598	神奈川県	243	神奈川県	322		
	3	オホーツク	527	オホーツク	432	千葉県	185	埼玉県	222	合計	-1,493

釧路	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-233 (-0.1%)		転入－転出		-853 (-0.4%)		道内	-233
		転入計	4,428	転出計	4,661	転入計	1,446	転出計	2,299		
	1	石狩	1,693	石狩	2,481	東京都	308	東京都	540	道外	-853
［人口 211,078］	2	十勝	598	十勝	601	神奈川県	169	神奈川県	251		
	3	根室	505	オホーツク	301	埼玉県	98	千葉県	152	合計	-1,086

根室	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-783 (-1.2%)		転入－転出		-110 (-0.2%)		道内	-783
		転入計	1,223	転出計	2,006	転入計	418	転出計	528		
	1	石狩	399	石狩	847	東京都	82	東京都	120	道外	-110
［人口 67,399］	2	釧路	294	釧路	505	埼玉県	43	神奈川県	55		
	3	十勝	137	十勝	158	神奈川県	37	埼玉県	43	合計	-893

転入・転出数：北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）
人口：北海道総合政策部「住民基本台帳人口・世帯数（2024年1月1日現在）」（日本人のみ）
（　）内は管内人口に対する割合

（５）社会増加率が高い市町村の特徴

本道における社会増加率の高い市町村について、直近２年間分を調査すると、市町村により、その理由は様々なものが考えられるが、以下の要因があることが推測される。

社会増加率が高い市町村（道内上位 10 市町村）

2023 年（社会増加 46 市町村）

順位	市町村名	人口 (2024. 1. 1) （人）	社会増減数（人）	社会増減率（%）
	北海道	5,093,983	4,608	0.09
1	赤井川村	1,353	256	23.15
2	占冠村	1,591	207	14.85
3	留寿都村	2,036	162	8.59
4	ニセコ町	5,481	413	8.12
5	倶知安町	16,505	925	5.92
6	南幌町	7,785	314	4.16
7	壮瞥町	2,391	72	3.05
8	蘭越町	4,496	69	1.54
9	安平町	7,311	91	1.24
10	新得町	5,531	67	1.20

2022 年（社会増加 49 市町村）

順位	市町村名	人口 (2023. 1. 1) （人）	社会増減数（人）	社会増減率（%）
	北海道	5,139,913	4,021	0.08
1	占冠村	1,394	172	14.00
2	倶知安町	15,636	902	6.10
3	ニセコ町	5,088	170	3.44
4	東川町	8,601	283	3.37
5	南幌町	7,546	233	3.16
6	西興部村	1,030	20	1.94
7	大樹町	5,439	66	1.22
8	猿払村	2,637	28	1.07
9	鶴居村	2,485	25	1.01
10	仁木町	3,128	28	0.88

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

【社会増加率が高い理由】（上記市町村からの聴き取りによる）

・観光業・宿泊業の雇用増加による外国人を含む従業者の転入
・外国人技能実習生等の転入
・移住促進・子育て支援による子育て世帯等の転入
・宅地造成・分譲による周辺地域からの転入
・その他（企業誘致による従業者の転入、近隣市町村で従事する外国人労働者の居住のための転入、農業振興施策による新規就農者の転入など）

※ 外国人の人口動向については P27 以降参照